

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	11 月	21 日	記入者	前田景子	
調査者名	亀田	神野	鈴木	東辻	前田	

文化財名	八幡神社境内のツルマンリョウ群生地					
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()	
指定年月日	1974年(昭和49)3月26日					
所在地	吉野郡東吉野村鷲家1171番地					
所有者 管理者	八幡神社					
員数						
時代区分						
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)		
案内板の状況	本殿後方に奈良県教育委員会の説明板設置					
公開	常時公開					
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い	
	補足 ()					
当面の課題	八幡神社境内に自生しているので当面の課題は見られない。					
今後の課題	境内裏山を獣道に沿って登っていくと鹿の新しい糞を見つけた。鹿が食べるかどうかはわからないが、同じ斜面にあるマンリョウと比較すると数が少なく、丈も小さめなのが気になった。					
その他 (由緒など)	ツルマンリョウは照葉樹林(椎や檜、楠など)の林床に生育するヤブコウジ科の小低木で茎はつる状だが巻きついたりはしない。7月頃、白い小さな花をつけ、やがてしぼみ、翌年五月頃、子房が膨らみ始め、9月頃実が赤く熟す。開花から2年目に実が赤くなるという大変珍しい植物である。					
コメント	当社の境内裏山にツルマンリョウが群生しているのを案外地元の人は知らない。畏敬の念を持ち見守り、生活に結びついているお宮さんを身近に暮らして欲しい。					

奈良県指定文化財調査票(写真)

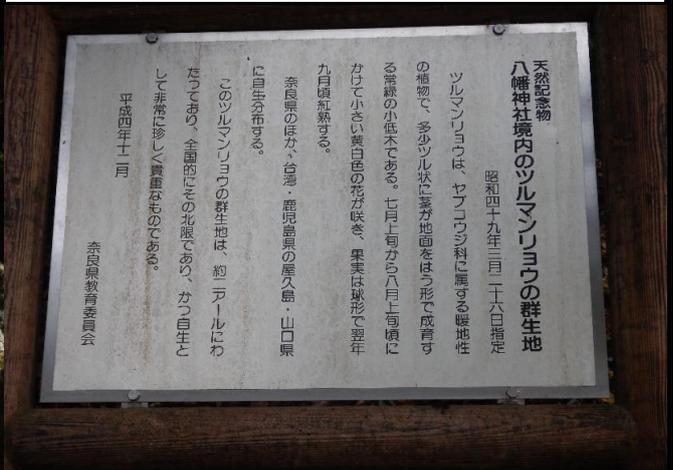
調査日	2020 年	11 月	21 日	記入者	前田景子	
調査者名	亀田	神野	鈴木	東辻	前田	

文化財名	八幡神社境内のツルマンリョウ群生地
------	-------------------

手前の太鼓橋より社殿を望む



奈良県の説明板



本殿背後の裏山の南斜面



近づいてみると・・・



つるが伸びた様子



似て非なるもの・マンリョウ

